

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)

【公開番号】特開 2001-205905 (P2001-205905A)

【公開日】平成 13 年 7 月 31 日 (2001.7.31)

【出願番号】特願 2000-24728 (P2000-24728)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 32/00

【F I】

B 4 1 J 32/00

A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 26 日 (2004.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の収納部と、この第 1 の収納部と所定の間隔を設けて配置された第 2 の収納部と、これら第 1 及び第 2 の収納部の端部を繋ぐ連結部とを有するカセットケースと、前記第 1 及び第 2 の収納部内にそれぞれ回転可能に収納された送出しコア及び巻取りコアと、該送出しコア及び前記巻取りコアにそれぞれ巻装され、前記送出しコアから送出され、前記巻取りコアに巻取られる幅広なインクリボンとを備え、前記送出しコアから巻取りコアに至る前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたことを特徴とするリボンカセット。

【請求項 2】

前記インクリボンの走行経路にはインクリボンの幅方向に沿った第 1 の支持部と該第 1 の支持部に対応した第 2 の支持部が設けられ、前記送出しコアから送出されたインクリボンは、前記上記第 1 の支持部にて折り曲げられ続いて前記第 2 の支持部にて前記第 1 の支持部による折り曲げ方向とは反対方向に折り曲げられて前記巻取りコアに巻回されることで、前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたことを特徴とする請求項 1 記載のリボンカセット。

【請求項 3】

前記第 1 の支持部は、前記カセットケースの側板部および前記第 1 の収納部の側面部を橋架するシャフトからなることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のリボンカセット。

【請求項 4】

前記連結部は、一対からなり、前記第 1 及び第 2 の収納部の両端部をそれぞれ連結し、前記第 2 の支持部は、前記一対の連結部材間の一部を橋架する壁部により構成したことを特徴とする請求項 2 乃至 3 のいずれか 1 つに記載のリボンカセット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題の少なくとも 1 つを解決するための第 1 の解決手段として、第 1 の収納部と、こ

の第 1 の収納部と所定の間隔を設けて配置された第 2 の収納部と、これら第 1 及び第 2 の収納部の端部を繋ぐ連結部とを有するカセットケースと、前記第 1 及び第 2 の収納部内にそれぞれ回転可能に収納された送出しコア及び巻取りコアと、該送出しコア及び前記巻取りコアにそれぞれ巻装され、前記送出しコアから送出され、前記巻取りコアに巻取られる幅広なインクリボンとを備え、前記送り出しコアから巻取りコアに至る前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、第 2 の解決手段として、前記インクリボンの走行経路にはインクリボンの幅方向に沿った第 1 の支持部と該第 1 の支持部に対応した第 2 の支持部が設けられ、前記送り出しコアから送出されたインクリボンは、前記上記第 1 の支持部にて折り曲げられ続いて前記第 2 の支持部にて前記第 1 の支持部による折り曲げ方向とは反対方向に折り曲げられて前記巻取りコアに巻回されることで、前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、第 3 の解決手段として、前記第 1 の支持部は、前記カセットケースの側板部および前記第 1 の収納部の側面部を橋架するシャフトからなるものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

以上説明してきた本発明のリボンカセットは、第 1 の収納部と、この第 1 の収納部と所定の間隔を設けて配置された第 2 の収納部と、これら第 1 及び第 2 の収納部の端部を繋ぐ連結部とを有するカセットケースと、第 1 及び第 2 の収納部内にそれぞれ回転可能に収納された送出しコア及び巻取りコアと、該送出しコア及び前記巻取りコアにそれぞれ巻装され、送出しコアから送出され、巻取りコアに巻取られる幅広なインクリボンとを備え、送り出しコアから巻取りコアに至る前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたことにより、カセットケース内の不要な空間を減らして小型化・薄型化することができ、その空間部分を有効に活用することができるので、装着した装置全体の小型化・薄型化をも図ることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また、インクリボンの走行経路にはインクリボンの幅方向に沿った第 1 の支持部と該第 1 の支持部に対応した第 2 の支持部が設けられ、前記送り出しコアから送出されたインクリボンは、前記上記第 1 の支持部にて折り曲げられ続いて前記第 2 の支持部にて前記第 1 の

支持部による折り曲げ方向とは反対方向に折り曲げられて前記巻取りコアに巻回されること
とで、前記インクリボンの走行経路が略クランク状に形成されたことにより、第１の支持
部と第２の支持部との間では、その間を走行するインクリボンにテンションが付加されて
、安定した走行が可能となり、インクリボンによる印刷記録が正確に行われる。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３６】

また、第１の支持部は、カセットケースの側板部および第１の収納部の側面部を橋架する
シャフトからなることにより、そのシャフトに摺接するインクリボンに所定のテンション
が加えられ、そのインクリボンの引っ張りによるシワが抑えられ、巻取りをスムーズに行
うことができる。